

四日市中央工業高等学校の信頼される学校であるための行動計画

令和2年度

四日市中央工業高校は、校訓「誠実 努力 親切」及び「四中工はあなたの能力を伸ばします！」の指導方針のもと、学習者の視点に立って、安全で安心な教育環境を全教職員が一丸となって構築し、生徒・保護者・地域の方々に信頼される工業高校を目指しています。

昨年度の実行は、教職員へのコンプライアンス意識の維持に一定の効果があると判断し、本校は、昨年度に引き続き、信頼される学校であるための不祥事根絶およびよりよい職場づくりの実行として、以下の実行を行います。

- 年1回行うコンプライアンス研修を充実します。
 - ・講義形式ではなく、体罰をはじめ身近な懸案を題材にした小グループでの話し合いを通じ、教職員相互の意識向上につなげます。

- 先生方各自が、不祥事に関する意識を継続的に持ち続けるように、生徒等への指導状況や生活状況を振り返るアンケートを、年2回行います。
 - アンケート項目
 - 1 生徒に対する指導（体罰を含む）に関するふりかえり。
(生徒からの信頼)
 - 2 異性教諭及び生徒に対する言動に関するふりかえり。(セクハラ)
 - 3 飲酒運転や娯楽（賭け事等）に関するふりかえり。(ライフ)
 - 4 自身が管理する金銭の取り扱いに関するふりかえり。(金銭感覚)
 - 5 保護者等の要望や期待への対応に関するふりかえり。
(外部からの信頼)
 - 6 過重労働・休暇取得、職務状況に関するふりかえり。(ストレス度合)
 - 7 法令（メール対応、個人情報等）に関するふりかえり。
(コンプライアンス順守)
 - ・それぞれの項目で1～3問の設問に3～4択で回答、記述できる設問も用意します。
 - ・アンケート後、個別に管理職から状況を聞き取りすることもあります。

- 校長は、教職員の不祥事根絶意識啓発のため、新聞等のメディアで報道された起きた教職員の不祥事の概要と校長の意見をできるだけリアルタイムに学校内ネットワーク（閲覧レポート機能）で全職員に周知し、職員と意見交換を行います。